

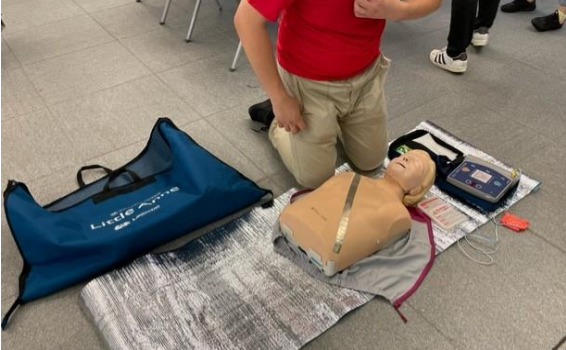



(2021年度分)

<p>団体名</p>	<p>117KOBEぼうさいマスター育成会議</p>
	
	
<p>阪神・淡路大震災の教訓と記憶の継承していくため、震災を経験していない兵庫県内の大学生が中心となり活動しています。</p> <p>市民救命講習を開講し、いざという時に救命措置が実践できる人材の育成に取り組むほか、音楽やスポーツ、地域イベントにブースを出展し、来場者向けにぼうさいワークショップを実施しています。ワークショップでは、胸骨圧迫の方法を学んだり、AEDを使ったりする機会を提供。古新聞を使ったスリッパやポリ袋のレインコート制作体験を通じて、防災・減災を身近に感じ、考えてもらう場づくりに取り組んでいます。また、受講希望をする兵庫県内の小中高校にも出向き「ぼうさい授業」を実施しています。</p> <p>活動を通じ、より多くの方々に「自助と共助」の考え方に接していただくとともに、防災・減災意識の向上と普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>但し、今年度も新型コロナウイルスの影響により各イベントが開催中止となり活動が制限される中、ぼうさい出前ワークショップとして、夏休みには人と防災未来センターでのイベントや「ハーバーランドの日」、尼崎市での「あまおだ減災フェスティバル」など、ぼうさい委員会メンバーによる年一度開催の「キックオフミーティング」で当委員会のメンバーの大学生に対し、訓練後は、必ず人形を消毒するなど、コロナ対策を万全にした上で実施しました。</p>	